



令和元年度 雲仙ふるさと景観百選受賞作品【誰そ彼時の古部駅／撮影場所：瑞穂町】

主な内容

P4 令和元年度 決算 注目事業

P10 常任委員会報告

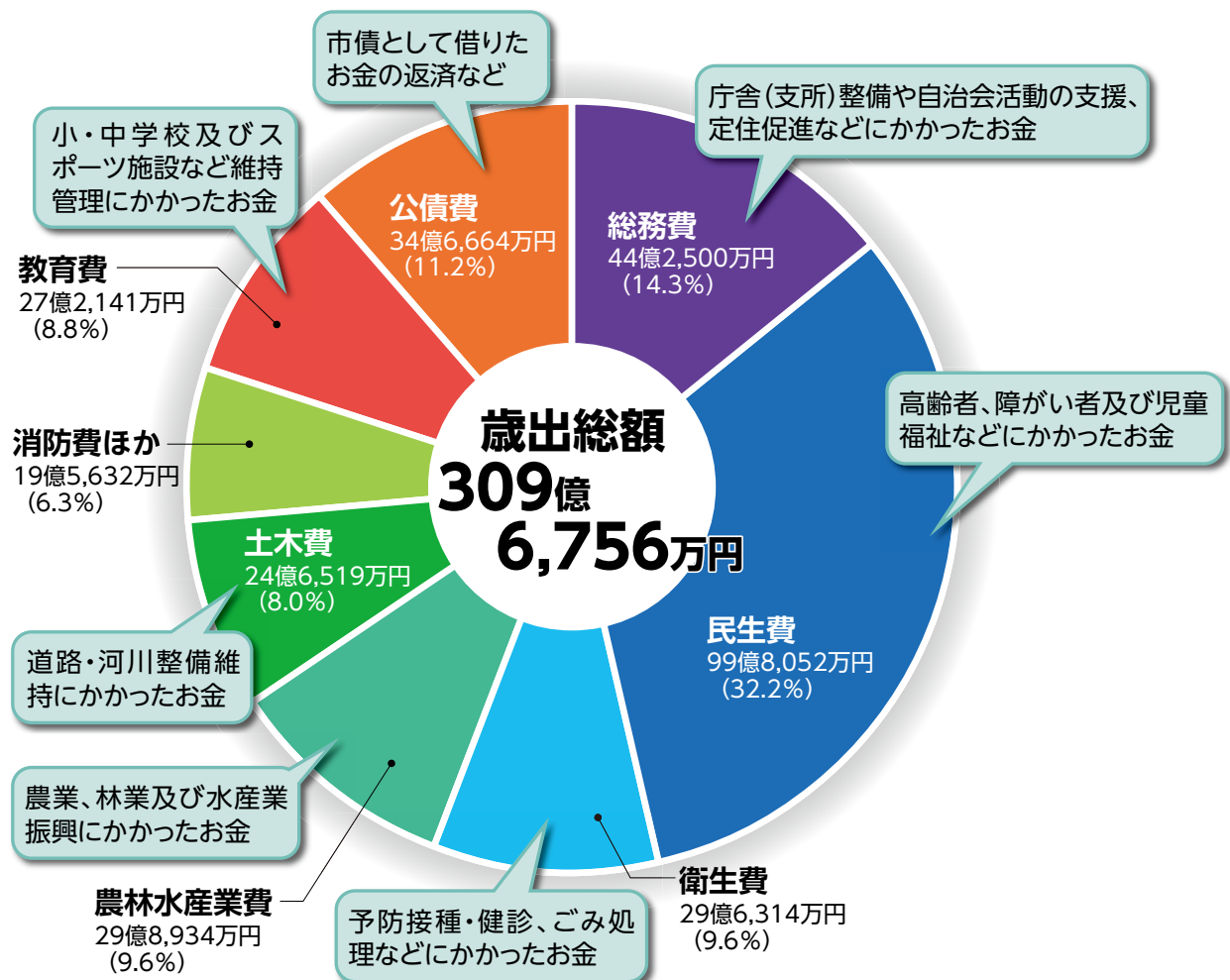
P13 市政を問う「一般質問」

P19 傍聴者の声

P20 時の人

309億6,756万円

[前年度比8.6%増]



市民1人あたりの借金 50万3,318円



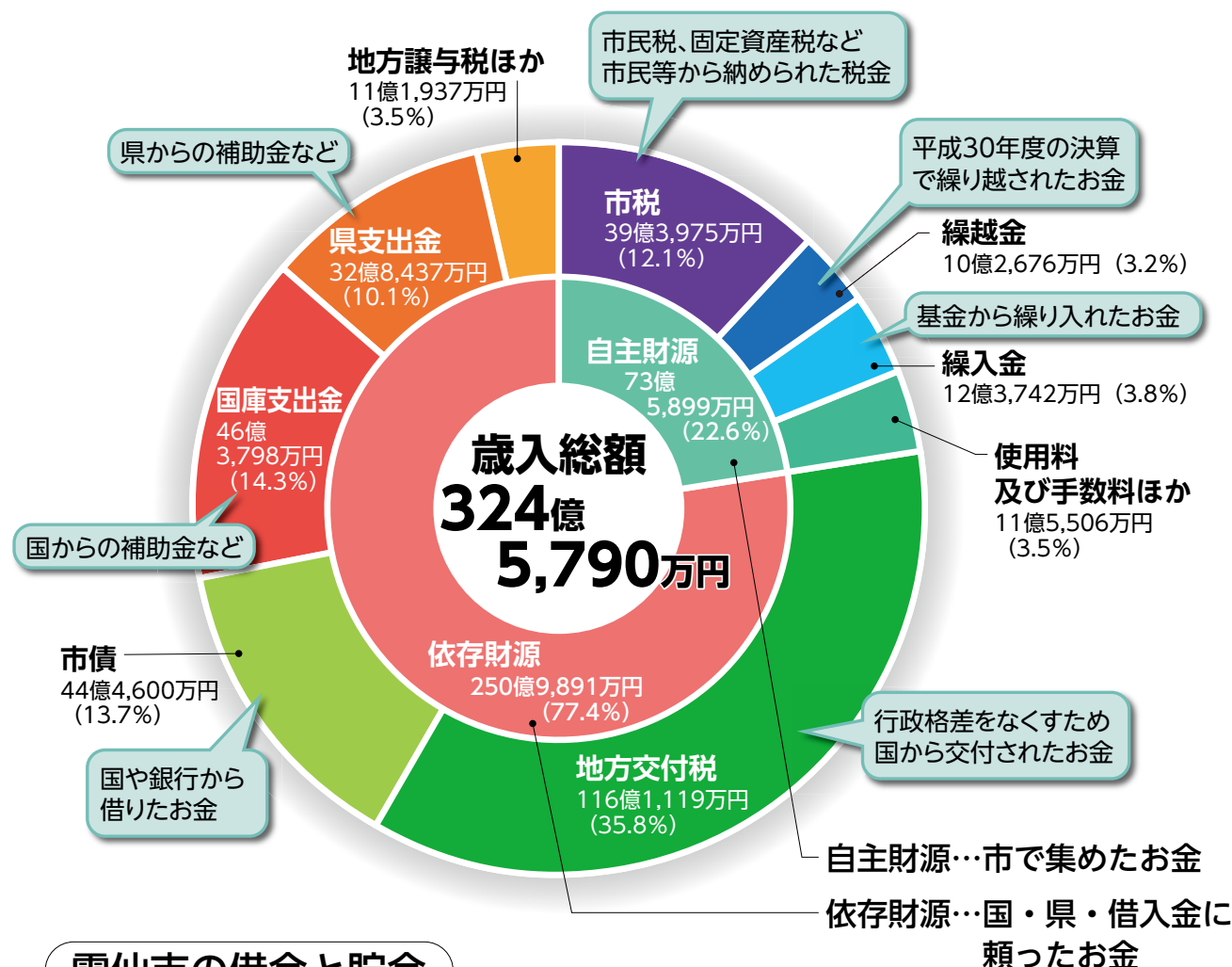
市債（地方債）と言われるものですが、自治体が学校・道路・橋などを整備する資金を調達するために、国や銀行から借り入れるお金です。多額の出費がある場合や、将来の世代にも経費を負担させることが公平な場合などに借り入れることができます。

市民1人あたりの貯金 52万7,520円

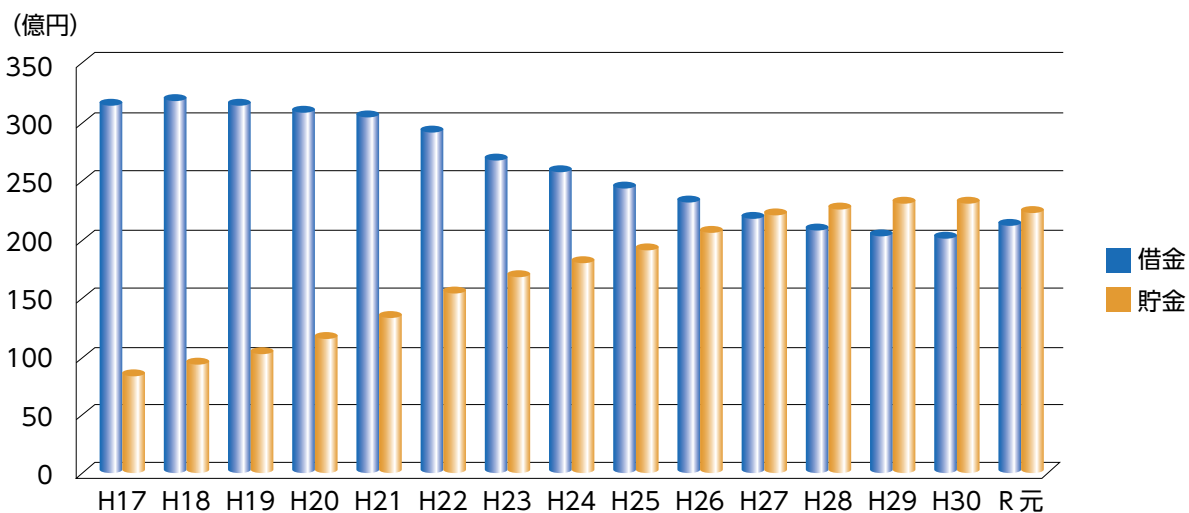


積立金（基金）と言われるものですが、一般の家庭において、出産や進学などに備えて積み立てておく貯金と基本的には同じもので、特定の目的や将来の出費などに備えて蓄えています。

決算の内訳



雲仙市の借金と貯金



民間教育・保育施設給付事業

23億3,906
万円



家庭の保護者に代わって保育を行う保育所などに対して運営費を支給しました。

令和元年度

決算

注目事業

市の予算がきちんと執行されたか、各常任委員会で慎重審査し、すべての会計決算を認定しました。

その中で、議会が注目した目玉事業を紹介します。

決算額は、令和元年度のみのものであり、全体事業費ではありません。

庁舎整備事業(愛の夢未来センター)

11億2,400
万円



愛の夢未来センターの外構工事が終了し、令和元年11月4日に開館しました。また、同センターの駐車場を整備し、センター前の交差点改良工事を行いました。

予防接種事業

1億2,620
万円



65歳以上の方を対象にインフルエンザ等の予防接種に対する助成を実施しました。また、乳幼児や児童を対象に定期及び任意の予防接種を実施し、感染症の予防を図りました。

雲仙・南島原保健組合負担金

10億2,228
万円



新病院建設に要する工事請負費・医療機器等の購入に関し、過疎対策事業債の活用を行い、新病院整備の支援を行いました。

〔開院〕令和2年3月1日

基盤整備推進特別対策事業

5,198
万円



土地改良区が単独事業として行う農地畦畔の石積工事のうち、道路及び水路に面した箇所を使用する石材の購入及び運搬に要する補助を行いました。

産地パワーアップ事業

5億496
万円



JA南申レタス真空予冷施設

集出荷施設や高性能生産施設などの施設整備と併せて、収益性を高める生産資材や高性能機械の導入に対して総合的に支援を行いました。

消防施設・機械器具整備事業

5,551
万円



経年等により劣化した防火水槽(3箇所)、消防団詰所(2箇所)等の新設、更新を行いました。

観光戦略策定推進事業

1,650
万円



事業所等の業種の枠を超えた連携の場を創出するなど、裾野の広い観光産業の確立に向けた新たな観光戦略の策定に取り組みました。

企業誘致用地整備費 国見 多比良地区整備事業

6億264
万円



国見町の多比良港埋立地を工業団地として整備し、企業の誘致を促進するため、用地の購入等に係る事業負担金の拠出を行いました。

冷房設備等対応臨時特例交付金事業

5億6,593
万円



小・中学校の児童・生徒の教育環境の向上のため、校舎の普通教室などに空調設備の設置工事を行いました。

令和2年 第3回定例会の概要

令和2年度 一般会計補正予算（第8号）の主な事業

**6億5,270万円の増額補正で、
補正後予算額は377億3,774万円**

○超高速ブロードバンド基盤整備事業

補正額 **3億2,085万円** 補正後 **5億2,318万円**

〔目的〕 本市における情報通信の格差を是正するため、市内全域に超高速ブロードバンド基盤（光ファイバー網）を構築し、市民や企業のインターネット等利用環境の改善を図る。

〔補正理由〕 新型コロナウイルス感染症拡大による「新たな日常」や「GIGAスクール構想」の事業前倒しに必要な情報通信基盤の整備が急務となったため、整備計画を前倒しして、令和3年度末までに市内全域での通信事業者サービス開始を推進する。



○新生児への臨時特別給付金給付事業【新規】 **2,504万円**



〔目的〕 新型コロナウイルス感染症が社会経済活動に与える影響は大きく、出産・育児に不安を抱えながら子どもを養育する保護者への経済的支援として、国の交付基準日（令和2年4月27日）より外れた同学年となる新生児へ臨時特別給付金を給付する。

〔内容〕 ①給付対象者 申請日時時点で市内に住所を有する令和2年4月28日から令和3年4月1日生まれの子どもの保護者

②給付額 子ども1人当たり10万円

○優良肉用子牛生産推進緊急対策事業【新規】 **1,350万円**

〔内容〕 経営改善に取り組む意欲的な繁殖農家に対して、県南家畜市場の黒毛和種子牛平均価格が60万円を下回った場合に販売頭数に応じて支援を行う。

〔補助額〕 1頭当たり10,000円

○小・中学校修学旅行特別対策事業【新規】 **1,279万円**

〔目的〕 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、やむを得ず修学旅行を中止または延期する場合に、保護者が負担する追加的経費（キャンセル料）に対し補助を行い、経済的負担の軽減を図る。

〔補助額〕 修学旅行の中止または延期に伴い、保護者が負担する追加的経費（キャンセル料）の全額

討論

令和元年度決算認定（一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）の審議において討論がありました。



◆一般会計 決算認定

賛成 平野 利和 議員

近年、局地的な集中豪雨など大規模自然災害の頻発・激甚化や新型コロナウイルス感染症の全国的な流行などの影響で、市民の生活を守り維持する事が自治体運営に求められ、その様な大事な一般会計歳入歳出決算が行われていると考える。

反対 矢崎 勝己 議員

莫大な基金総額126億6千万円を取り崩して、市民要求の施策に応えるべきだった。結婚応援事業は大歓迎で高く評価するが、年齢制限は人権侵害になりかねない大問題である。商品券購入者の対象名称が不適であり、事務費がかかり過ぎだと考える。

◆国民健康保険特別会計 決算認定

賛成 藤本 淳次郎 議員

令和元年度の事業実施については、国、県の指導に基づいて保険者、被保険者、医療機関との連携を密にした事業運営に努め、令和元年度雲仙市国民健康保険事業計画書を基に、国保に関係する部署で歳入の拡大と歳出を抑制する具体的対策に取り組まれている。

反対 上田 篤 議員

国保は都道府県化となったが、「高すぎる国保税」はそのまま。国保税の滞納率は11%で深刻な事態だ。国保財政への一般会計からの繰入れ、均等割の廃止も検討すべきだ。国保は社会保障制度であり、相互補助制度ではない。これを無視するのは大きな間違いだ。

◆後期高齢者医療特別会計 決算認定

賛成 大山 真一 議員

保険料収納率は前年度より上昇し収納の確保が図られている。事業面では、健康寿命延伸に向けた保健事業として医療費抑制や生活習慣病の重症化防止を図るなどの広域計画に沿った事業に取り組んでいる事が評価できる。

反対 上田 篤 議員

この制度は75歳という年齢で国民を差別するものだ。資料では、被保険者数が8,002人。低所得者が43%を占める。保険料は2年ごとに上がる。この制度は憲法第25条の生存権、同第14条の「法の下での平等」に反する。誰もが合意できる制度を作るべきだ。

賛 否 表

※本会議において否決及び賛否が分かれた議案について掲載しています。	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	結 果	表 決 数	藤本 淳次郎	山本 松一	大山 真一	矢崎 勝己	渡辺 勝美	佐藤 義隆	林田 哲幸	坂本 弘樹	酒井 恭二	平野 利和	浦川 康二	上田 篤	町田 康則	大久保 正美	小畑 吉時	元村 康一	小田 孝明	深堀 善彰
令和元年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和元年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
令和元年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	可決	16:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

○賛成

●反対

▲欠席

※議長(松尾文昭)は、採決に加わらない。

意見書を国へ送付しました

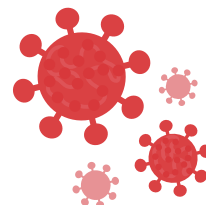
※意見書の文面は、抜粋を掲載しています。



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、地域経済にも大きな影響が及び、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

このため、地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想されることから、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、確実に実現されるよう強く要望するもの。



【提出先】衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣
財務大臣 経済産業大臣 経済再生担当大臣
まち・ひと・しごと創生担当大臣

人事案件

人権擁護委員

任期

令和3年1月1日～

令和5年12月31日

(3年間)



はやし ひろみ 氏
(新任)



まちだ としふみ 氏
(再任)



ひょうどう じゅんこ 氏
(再任)

固定資産評価審査委員会委員

任期

令和2年12月2日～

令和5年12月1日

(3年間)



ひろせ あきふみ 氏
(新任)



ひらの やすまる 氏
(再任)



まえだ あきとし 氏
(新任)

令和2年第3回雲仙市議会臨時会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第62号	令和2年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案について	原案可決

令和2年第3回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
報告 第 10 号	令和元年度雲仙市決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—
報告 第 11 号	放棄した債権の報告について	—
報告 第 12 号	放棄した債権の報告について	—
報告 第 13 号	専決処分した事件の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）	—
議案 第 63 号	雲仙市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 64 号	雲仙市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 65 号	雲仙市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 66 号	令和2年度雲仙市一般会計補正予算（第8号）案について	原案可決
議案 第 67 号	令和2年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第 68 号	令和2年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第 69 号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案 第 70 号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案 第 71 号		
議案 第 72 号	雲仙市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決
議案 第 74 号		
議案 第 75 号	動産の買入れについて	原案可決
議案 第 78 号		
認定 第 1 号	令和元年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 2 号	令和元年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 3 号	令和元年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 4 号	令和元年度雲仙市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 5 号	令和元年度雲仙市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 6 号	令和元年度雲仙市温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 7 号	令和元年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 8 号	令和元年度雲仙市水道事業会計決算認定について	認 定
諮問 第 3 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
諮問 第 5 号		
発議 第 3 号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	原案可決



「雲仙市お試し住宅」を現地視察

本委員会に付託された案件について、原案可決2件、認定1件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

令和2年度一般会計補正予算（第8号）案

令和元年度一般会計歳入歳出決算認定

質疑 有害鳥獣生活環境被害対策事業費は、イノシシ等を追い払う資機材を市で購入するということであるが、近頃、市民が生活している地域にもイノシシ等が出てきており、農家だけの問題ではなくなっている。

今後は、地域住民に対し、有害鳥獣の対処方法等を周知する必要があると思うが、どのように考えているのか。

答弁 農林課と連携し、また、猟友会へ協力をお願いしながら、対策に当たっていききたい。



質疑 各総合支所の電気代については、電力の自由化により、入札にて供給業者を決定したことから、前年度より約550万円の減額となったとの説明であったが、平成30年度は、入札は行っていないかったのか。

答弁 電気代の入札制度導入については、平成30年度に本庁舎、令和元年度に4総合支所において実施、今後については、本庁舎および6総合支所をまとめたところで入札を実施する検討を進めている。

質疑 職員事務補助経費は、職員が長期休職した際に雇用した臨時職員の経費であるとの説明であるが、休職理由と人数はどのようなになっているのか。

答弁 病気で休職した職員が24名、育児による休職者が6名である。

質疑 精神疾患による休職者が多いと聞が、近年の傾向はどのようになっているのか。

答弁 平成28年度からは減少傾向にあったが、令和元年度には11名となり、増加傾向にある。

質疑 令和元年度の徴収事務については、収納率が過去最高ということで大変努力されているが、一方では、法人の固定資産税において総額約1億413万円という多額の滞納繰越分が不納欠損として処理されている。主なものが一つの企業の倒産案件であり、平成21年度から平成29年度までの9年間で約9910万円の滞納分であるとの説明を受けた。苦しい生活の中でもきちんと納税をしている市民のことを考えると、滞納を繰り越してきた9年の間の早い時期に、滞納処分を実行すべきではなかったのか。

答弁 市としては、これまで徴収に努めてきたが、結果的に収納へ結びつけることができなかった。今後は、納税の公平性を欠くような案件を発生させないよう取り組んでいきたい。

議案外指定金融機関との協議

☆9月23日、総務常任委員会を開催し、執行部の報告を受けた。

報告 会計課の人員費について、令和2年第1回定例会の総務常任委員会時の説明では、指定金融機関からの派出員が、令和2年度より2名から1名へ縮減され、そのことにより市の負担が増えるとのことであった。総務常任委員会より指摘を受け、その後、指定金融機関と協議を重ねた結果、派出員については、9月1日から2名体制に戻すことになった。

現地調査を実施

今回の議案に関連する事業等について、雲仙市お試し住宅事業、南串山支団第1分団詰所新築工事、防災行政無線雲仙再送信局埋設工事の3箇所の現地調査を実施した。



本委員会に付託された案件について、原案可決9件、認定4件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

令和2年度一般会計補正予算(第8号)案

質疑 小中学校修学旅行特別対策事業において、現時点での修学旅行の実施時期と行先はどのようになっているのか。

答弁 実施時期については、例年の5月実施を9月から2月の実施に変更し、行先については、小学校が例年の福岡・北九州方面を熊本あるいは県内へ変更、中学校においては、大阪、京都の関西方面を南九州や山口、広島方面へ変更している。

質疑 支援対策児童等見守り強化事業の補助金の流れは、民間団体から補助金を各関係機関へ交付するのか。
答弁 民間団体が対象となる家庭を訪問することにより、見守りを強化する事業となる。今回は、10分の10の国の補助事業であり、1箇所あたりの補助金上限額831万3千円を計上している。見守りの事業にどの

令和元年度一般会計歳入歳出決算認定

質疑 埋蔵文化財発掘調査はあと何年続くのか。

答弁 現在、県営圃場整備が市内4地区で実施されているが、事業期間が令和2年度から令和4年度までとなっている。今後、他地区で圃場整備が計画された場合には延びる可能性がある。

質疑 吾妻体育館運営費の決算について、市内のほかの体育館と比較して、人件費も含め突出した運営費について教育委員会としてはどう考えるのか。

答弁 公平性の指摘については、教育委員会において、市内体育施設の管理のあり

方、人員の配置について、再度どのような方法がいいか検討をしていきたい。また、公共施設の今後のあり方にも大きく関わってくる面があり、教育委員会ではたくさんさんの体育施設、社会教育施設を管理しているのので今後、10年、20年先を見えた適切なあり方を併せて考えていきたい。

質疑 小浜クリーンセンターの施設運営に約3300万円の経費がかかっているが、運営はどのようになっているのか。

答弁 小浜クリーンセンターでは、千々石町、小浜町、南串山町で収集されたし尿を一時受入れとして貯留している。管理については、市内の汲み取り業者6社で構成する県南環境事業協同組合に委託をし、雲仙市環境センター間のし尿運搬、小浜クリーンセンターの中継施設としての施設管理をお願いしている。

動産の買入れ

質疑 タブレット端末を令和3年2月1日までに購入し、ハード整備が完了して新年度より稼働するものと考えられるが、授業に入る前の教職員に対する操作研修はどのように計画されているのか。

答弁 導入後、すぐに目的とする授業ができる教職員は、これまでの電子黒板やデジタル教科書導入時の研修状況から判断すると、少数であると予想する。そのため、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の臨時休業を想定し、教室内ネットワークを活用したワークシートのやり取りをすべての教師と児童・生徒の間でできるよう、導入時に研修等を実施する。また、研修については、わかりやすいマニュアルもしくは動画等を作成しながら、すべての教職員ができる限り早めに使えるように準備したい。



本委員会に付託された案件について、原案可決4件、認定5件と決定しました。
主な案件の質疑等の内容は次のとおりです。

令和2年度一般会計補正予算（第8号）案

質疑

優良肉用子牛生産推進緊急対策事業で、県南家畜市場の黒毛和種子牛平均買取価格が60万円を下回れば、高く売れた子牛であっても1頭当たり1万円の助成をすることになるとの説

明があつたが、平均価格を大きく上回る額で売れた子牛に対しての補助は本当に必要なのか。

答弁 新型コロナウイルス感染症拡大後は、イベントや外出及び外食産業の自

粛、和牛が高級食材であるということとで家庭内での巣ごもり消費も伸び悩み、非常に肥育農家の経営が圧迫されていると感じている。

子牛が高値で取り引きされにくいために、子牛を生産する繁殖農家も一部高値で売れても経営への影響はあると考える。しかし、議案質疑の中で、現時点において上限設定については考えていない旨の答弁をしたが、その後内部でよく協議

し、これから制度の詳細を詰めていくということとで、今後、市場関係者の声も聴きながら整理したい。

令和元年度一般会計歳入歳出決算認定

質疑

島原半島良質堆肥広域流通促進事業における堆肥の集積方法や運搬先は、

どうなっているか。

答弁 3戸の農家で組合を組織されており、個々に作られた堆肥を組合員が堆肥運搬車で集積し、諫早市の耕種農家や堆肥センター等へ運搬している。

質疑 市道小浜仁田峠循環線の渋滞対策調査検討業務負担金で、調査結果による今後の対策はどのようなものか。

答弁 仁田峠駐車場に長時間駐車する登山者には旧雲仙小学校のグラウンドを利用してもらい、登山口までバスで輸送することで、他の観光客が利用可能となり、渋滞が解消できるのではないかとということで、実証実験を今年度の紅葉シーズン

に行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、バスも密を避けなければいけないということもあり、来年度に実施する方向で計画を進めている。

反対討論

諫早湾関係でいろいろな事業が実施され、どれも必要な事業とは考え

るが、開門調査で漁業不振の真の原因を究明し、解決しないことには、諫早湾の再生はありえないと考え

24時間常駐を行わなくてもよくなる。よって、維持管理費の減につながると考えている。

令和元年度水道事業会計歳入歳出決算認定

質疑

有収率はどのような傾向なのか。

答弁 本来であれば、配水管布設替工事を行っているために、有収率が上がるべきだが、新しくなった箇所はよくなるが、古くなった箇所から新たに漏水が発生している。どうしても弱いところから漏水しているのが現状であり、有収率についても少し下がり気味の状態である。今年度は、昨年度よりも早めの対応で有収率の向上に努めている。

令和元年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

質疑

今回の機械等の更新をすることで、雲仙地区の維持管理費は減少するの

か。

答弁 現在は、ウェブ監視による警報システムを導入

していない関係で、24時間常駐の体制であるが、今後、改築、機器の更新を行うことで、施設に異常があった際は、直接携帯電話に警報が通知されるようになり、

現地調査を実施

※有収率とは？
給水する水量と料金として収入のあった水量との比率

今回の議案及び台風9号、10号の災害状況などについて14箇所の現地調査を実施した。

市政を問う 10名の議員が一般質問



町田 康則…P13	矢崎 勝己…P15	上田 篤…P17
平野 利和…P14	佐藤 義隆…P16	大山 真一…P18
山本 松一…P14	林田 哲幸…P16	
坂本 弘樹…P15	小田 孝明…P17	

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

防災対策とコロナ感染

市民生活部長 大雨の状況では受付を玄関で動線が取れる配慮を。又、入所の状況を見て次の避難所を開ける準備をしていきたい。

議員 今年の九州豪雨で多数の避難者が出た51市町村で約半数が、感染者対策で避難所運営の在り方を見直す方針と出ていた。大牟田市では検温を施設に入る前にするとしていたが、豪雨で外で待たせられないため、一旦施設内に入ってから計るしかなかった。日田市など7市では、想定を超える避難者が訪れたため、別施設に移動することが起こった。市はどう考えているか。

避難所での対応



まちだ やすのり
町田 康則 議員

他の質問
・自主防災組織の訓練実施と訓練内容の状況調査
・市の罹災証明書の発行の取り組み

健康福祉部長 マップ作成、条例制定を研究したい。

議員 長野県佐久穂町では、要支援者などを書き込んだ「災害時住民支え合いマップ」を消防団員らが完成させていたため、昨年の千曲川氾濫で住宅60軒以上全半壊したが、死者はゼロだった。消防団の一人は、作成は大変だったが、マップがあつて本当に助かったと言われた。又、行政は要支援者の情報を提供できるような条例の制定を検討している。宮城県大郷町でも、要支援者情報を共有し、要支援者の家が赤く塗られた防災マップを作っていたため、昨年の吉田川堤防が決壊した際に、死者はゼロだった。

高齡者や障害者ら要支援者の避難誘導は

成年後見制度とは



ひらの 平野 としかず 利和 議員

議員 成年後見制度の事で「知り合いの認知症の方の今後が心配だ。自分（相談者）がしっかりしている時はいいが、認知症や病気で意識がなくなり、自分の財産やこれから先の自分の人生が不安になる」と相談を受けた。成年後見制度の内容を尋ねる。

市長 成年後見制度は、法定後見制度と任意後見制度の2種類がある。法定後見制度は、判断能力が十分でない方が利用する制度で、利用するために家庭裁判所に申し立て裁判所が選任する。任意後見制度は、将来、誰に支援をしてもらうか本人が契約しておく制度である。成年後見制度の必要性は一層高まると考え、雲仙市社会福祉協議会と連携し、利用促進に取り組む。



国見体育館（左側）と国見中学校体育館（右側）

議員 雲仙市公共施設等総合管理計画において、公共施設の延べ床面積は、将来約25%削減が必要となっている。国見体育館と瑞穂体育館の今後の在り方と建て替えの計画はどのようになっているのか。

教育次長 国見体育館、瑞穂体育館については、一定程度老朽化が進んでいる。今年度策定を予定している個別計画の中で、学校施設の体育館との統合を盛り込んでいく。

体育館施設の統合建て替えは

民家のイノシシ対策は



やまもと 山本 まついち 松一 議員

議員 農地へのイノシシ対策は進んでいるが、民家への対策は進んでいない。千々石の自治会では、住民への危険を感じ、市の担当に相談したが回答が無いので自治会予算約30万円を支出してボラティアで柵を設置している。資材費の全額補助はできないか。

市民生活部長 設置費も含め3分の1補助を考えている。

議員 市民がボラティアで柵を設置した場合、資材の3分の2の補助はできないか。

副市長 要綱上で検討する。

集会所のAED設置は

議員 集会所の設置数は。市民生活部長 設置はゼロ。

議員 設置ゼロの原因は。部長 使用への不安や既に公共施設にあることなどである。

議員 担当者が普及に対し

て真剣に取り組んでいないのも一因と考える。自治会がまとまって注文することでAED導入単価が下がると提案してきたが、今の市の対応では、令和元年度予算300万円に対し、執行残が285万円もある。今後どのような対応をするのか。

部長 各自治会の会合において、積極的に周知したい。

コロナ解雇の状況は

議員 雲仙市のコロナ解雇の状況は。支援制度の周知を。観光商工部長 市では、4事業所で33名の解雇である。今後周知を図っていく。

地熱発電の活用は

議員 地熱資源保護の活用事業の目的は。

環境水道部長

地熱開発業者の動きが活発化して、地域への混乱も懸念されるので、源泉の基礎データを集約したい。

議員

雲仙市地熱資源の活用に関する条例制定を望む。部長 本年度制定を目指す。

神代川護岸整備の対応



神代川下流域

議員 神代川の護岸整備と樹木の伐採ができないか。

市長 現場を確認し、護岸の継ぎ目がずれ、中が空洞になっている様子やひび割れを確認した。このまま放置した場合には河川の増水時に護岸が決壊するのではないかと不安を感じた。県が管理する河川について、所要の予算を確保の上、危険箇所が改善されるよう強く求めていく。



さかもと 坂本 ひろき 弘樹 議員

神代川護岸整備を

建設部長 樹木の伐採は、河川管理者の県と協議を進め早急に対応する。

防護柵設置業者選定

議員 部署によっては市外業者への発注が多くみられるが。

総務部長

随意契約の業者選定は市内業者への優先発注を基本としている。業者育成の観点から市内業者に優先発注するよう各部署へ指導する。

コロナ禍の経済対策

議員 市内経済にも業種を問わず影響があるが、特に飲食業への影響が大きいと感じる。

観光商工部長

第3回臨時会で商品券の追加と固定費あるいは新生活に対応する経費の助成を上程した。今後何らかの支援策が全国的に例がないか研究していく。

市民アンケートを実施

今後の下水道事業

議員 今後の事業の民営化と現在の経営状況は。

市長

小規模な自治体では効果が僅かである。使用料の上昇や水質悪化、災害時や経営破綻時の運営体制に懸念が残るので、現時点では民営化は考えていない。

環境水道部長

施設の運転管理や水質管理、汚泥の処理等は効率化を図るための民間委託をさらに研究する。

議員 加入促進は柔軟な対応が大事だ。

PCR検査体制の拡充を

議員 PCR検査体制の拡充はどうするのか。

健康福祉部長

県内で一日



やざき 矢崎 かつみ 勝己 議員

最大634件が検査できる体制が整備されている。今後約2千件まで拡充する方針である。

議員

島原半島には検査できる病院はあるのか。

部長

検体採取する所はある。名称や場所は公表されていない。

市民アンケート

議員

今回市民アンケートを実施し集計して市政に届けたが、市長の対応と感想は。

市長

率直に市民の声として大変参考になると感じた。今後の市政運営の参考としたい。

住宅地の鳥獣防止策は

議員

住宅地内に侵入する有害鳥獣の防止対策の助成制度の割合を10割、10万円にできないか。

市民生活部長

農林事業を参考にした。補助の割合は研究する。

千々石庁舎管理状況は



さとう よしたか
佐藤 義隆 議員

管理状況は

議員 千々石庁舎のエレベーターの速度が、吾妻庁舎

のエレベーターの速度と比べた時遅く感じるが、何らかの都合で遅くなっているのか。

市長 千々石庁舎のエレベーターは、平成29年に地震

等への対応を図るため、建築基準法等の改正にのっとり、エレベーター施設の改修を行ったが、エレベーターの速度を変更する場合は、建物の構造の変更を余儀なくされることから、建設当時の速度のまま改修を行った。

議員 千々石庁舎3階の多目的室の活用方法で、現状を見ると、放送設備や舞台照明等が不足していると思われるが、今後どのように対応されるのか。

るのか。

総務部長

今後は、施設の有効活用の観点から、音響設備や舞台照明など市民ニーズを加味し、施設整備について総合的に研究していきたい。

千々石川の管理は

議員

千々石川は、総延長12kmあり、島原半島で一番長い2級河川であり、長崎県の管理であることは承知しているが、千々石川の環境整備については、環境整備に特化した基金で雲仙市千々石川環境保全基金を活用して、環境整備を図る考えはないのか。

環境水道部長

活用をすべきとの意見を受けて、今年度より千々石川環境保全基金を充当した事業を予算化しており、環境美化活動に活用を図って行きたい。

他の質問

- ・公共看板の管理
- ・海岸の管理

不法投棄被害に救済を



はやし たひろ
林田 哲幸 議員

不法投棄対策は

議員

雲仙市の不法投棄を未然に防ぐ対策、不法投棄が確認された場合の対応はどうなっているのか。

市長

雲仙市環境美化条例にごみの投棄禁止を定めており、命令に従わない者に対し5万円以下の罰金に処するとしている。また、環境監視員を配置し巡回パトロールを行うなど防止するための環境づくりに取り組んでいる。

環境水道部長

不法投棄が確認された場合は、まず、環境政策課職員にて現地を確認し、警察や保健所に情報提供を行い、投棄された場所が市の土地の場合は市職員で撤去をするが、民地の場合は土地の所有者に撤去をお願いをし

ている。

議員

個人所有の土地で発生した不法投棄の被害者に対して、市から撤去費、処分費等の支援はないのか。

部長

今のところそのような支援はない。

議員

いろいろ調べてみたら、栃木県日光市には廃棄物の撤去費、処分費に対して補助するという制度があった。雲仙市でも補助要綱をつくれればできるのではないのか。

部長

先進自治体の調査については、真摯に取り組む。

公共施設予約システム

議員

公共施設の利用手続きの利便性向上のため、インターネット上のオンライン予約という形で、窓口に行かず施設を借りられるようにする考えはないのか。

教育次長

インターネットを活用した予約システムが導入できれば市民の皆様や我々にも利便性のあるものになると考えている。

休日当番医のおしらせ

8月 休日当番の医療機関		
※7月15日現在の内容です		
市内当番医 9時～18時	市内当番医診療科目	
市外当番医 9時～17時	内科	外科
当番歯科医 9時～12時	小児科	泌尿器科
市内当番薬局 9時～18時	整形外科	耳鼻科
日	医療機関	電話番号
2日(月)	貴田神経内科・呼吸器科・内科病院	有明町大三東 68-0040
	土井外科消化器内科医院	中 町 62-6305
	小嶺整形外科クリニック	南島原市有家町 82-1755
	はらぐち歯科医院	上の町 62-4361
9日(月)	大三東調剤薬局	有明町大三東 68-1357
	柴田長庚堂病院	中 堀 町 64-1111
	酒井外科胃腸科医院	宮の町 62-6655
	愛野診療所	雲仙市愛野町 36-0009
10日(月)	喜多歯科	中 町 62-4745
	フラワー調剤薬局	中 堀 町 65-0265
	松岡病院	江戸丁 62-2526
	長崎県島原病院小児科	下川尻町 63-0202
	池田病院	湖南町 62-5161
	松尾胃腸科外科医院	雲仙市国見町 78-1000
10日(月)	いなだ歯科	加美町 62-2901
	たぐち薬局	江戸丁 62-4193
	そうごう薬局白土湖店	湖南町 65-0321

島原市のホームページより参考記載

議員 先日、島原市の広報紙を見る機会があり、休日当番医の欄に雲仙、南島原市の医院が載っていた。雲仙市は

休日の医院受診を便利に



おだ こうめい 小田 孝明 議員

国見から南串山の間が50km程あり広い。島原市、南島原市の当番医院を加えると市民にとって大変便利になり、助かる。
健康福祉部長 近隣市や南高医師会と協議し、調整したい。
総務部長 関係機関との協議が調えば調整していきたい。
議員 休日調剤薬局も掲載すれば医院の処方箋で薬をもらえて患者は安心できる。

コロナ問題解決に全力を



うえだ あつし 上田 篤 議員

支援は1人の漏れも無いように

議員 新型コロナウイルス問題の現状、対応、対策はどうか。

市長 県では9月1日時点で232件が確認、本市では9件が確認されている。検査により陽性と診断された場合、発生届が提出され、患者は入院し、保健所が本人や家族等の調査を行うことになる。

議員 コロナ禍の経済対策はどうか。

観光商工部長 コロナ対策事業の「持続化給付金」は、直接国が対応しており、問い合わせても教えてもらえなかった。商工会の支援による申請は8月20日現在265件

である。「雲仙市事業継続支援金」(商工部門)は売り上げが前年比20%以上減少している事業者に市が支給するもので8月25日現在649件分、1億7千万円余を支給。同じく農業部門では8月31日現在51件分、999万円余を支給している。

市民生活部長 国保減免制度では8月31日現在25件の申請がある。まだ低調な申請数だと思う。

議員 国保傷病手当金を独自に拡充する自治体がある。鳥取県の岩美町と岐阜県の飛騨市である。本市でも検討すべきだ。

観光商工部長 新規事業は必要に応じて考えたい。

議員 どの事業も申請件数が少ないのではないか。もっと対象者を洗い出し、1人も漏らさないように取り組むべきだ。

施設管理と地方創生は



おおやま しんいち
大山 真一 議員

個別計画の策定は

議員 現在、市の公共施設について個別計画策定に取り組まれている状況についての説明を求める。

市長 計画策定支援業務を専門業者へ発注し、7月に説明会と8月に調査講習会を実施した。今後は必要な調査と専門業者の支援を受けて今年度中の計画策定完了に取り組む。

議員 計画の策定に当たっては市民への周知を図るなどの措置を取り、万全を期すように切望する。

コロナ禍での地方創生

総務部長 現在取り組み中の超高速ブロードバンド基盤整備は新たな日常を求める生活に欠かせない事業と認識している。移住・定住促進もこの通信環境を生かした新たな行政サービスや政策を構築する必要があると考える。

議員 コロナ禍での地方創生の取り組みについては、まち・ひと・しごと創生本部の機能を発揮して臨みたい。

副市長 新しい日常を求め都市住民が地方での生活を選択肢としている機会を生かすために市役所内組織の横断的連帯意識で事業を推進し、来年度策定予定の雲仙市総合計画後期基本計画に盛り込むよう研究を重ね、取り組み可能なものから対応していく考えである。



長崎県への施策に関する 要望・提案書の提出

議会だより66号でお知らせしておりました、令和2年度長崎県への施策に関する要望・提案を市議会、市長部局との合同で中村県知事及び長崎県議会に行い、市議会からは正副議長及び各常任委員会委員長が出席しました。



今回は本市の『重要施策9項目』を要望しました。

そのうち地域の喫緊の課題である「愛野～小浜間の幹線道路整備について」、「県管理河川の改良と維持管理について」、「多比良港埋立地の活用及び整備等について」の3項目については、一般国道57号の機能強化等の国への強い働きかけ、河川の適正な維持管理、多比良港埋立地の未埋立地の早急な完成を強く要望しました。

傍聴者の声

私達千々石婦人会は、8月31日～9月1日の2日間、延べ24名の会員が初めて市議会の傍聴に参加しました。傍聴席は思っていた程広くはなかったのですが、その分、議員さんとの距離が近く、挨拶したり、言葉かけしたりすることができました。私達の代表である議員さん達が真剣に地域の



問題や課題について質問され、それに市長さん、担当部長さん達が答えられる姿を直接目の当たりにし、私達も、もっと議会や行政に関心を持ち、議員さん達に自分達の声を届けていくことが生活の充実、向上につながることに気づかされる良い機会となりました。機会があったらまた参加したいと思います。

千々石婦人会 会長 ^{すずき はるよ} 鈴木 晴代

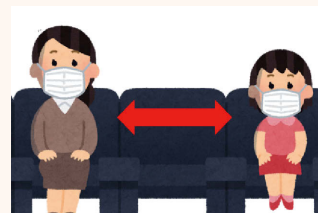


は やま たかひろ
羽山 高裕 (吾妻町在住)
〔県立島原高等学校1年生〕

私は今回、体育祭の振休を利用し、2度目の議会傍聴をさせていただきました。私は傍聴席より議事を拝見して思ったところがあります。それは、議会傍聴に訪れる若者の少なさです。若者の政治離れが嘆かれている現代、このような状況に歯止めをかけられるといいなと思いました。もちろん若者は働く世代でもあるので難しいところだとは思いますが、我々が選んだ代弁者による議論を一度は肌で感じていただきたいと思います。私は市議会傍聴の醍醐味というのは、国会とは違い身近に行われ、生活に直結するということにあると思います。私もあと2年すると、選挙権が与えられます。自分の信じる理念のもとに責任のある一票を投じられるような人でありたいです。

新型コロナウイルス感染症への感染を予防するため、本会議等の傍聴を希望される場合は、以下のご協力をお願いしています。

1. 傍聴席入口に備え付けの手指消毒液を使用して、感染予防対策にご協力ください。
2. 傍聴席では、マスクの着用をお願いします。
(※マスクは原則各自でご用意ください。)
3. 傍聴席では、お互いに間隔をとって着席してください。
(※密を回避するため、利用可能人数を制限しております。)



議会を傍聴してみませんか？

令和2年第4回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
11月26日（木）～12月17日（木）です

■一般質問 11月30日（月）～ 12月3日（木）

■議案質疑 12月7日（月）

■委員会

文教厚生常任委員会 12月8日（火）

産業建設常任委員会 12月8日（火）・9日（水）

総務常任委員会 12月9日（水）



※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。

※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

編集後記

今、コロナ禍の中、医療従事者等に対し、誹謗中傷や差別的発言がされています。感謝こそされても、あつてはならないことです。

近年、ジェンダー平等を求める動きが広がっています。ジェンダーとは社会的・文化的につくられた性差と定義されています。それは決して自然に出来たものではなく、歴史的に形成されてきたものとする見方もあります。単なる男女平等とは異なるようですが、私達人ひとりが考えなければならない課題だと思います。（矢崎勝己）



議会広報編集特別委員会

委員長 平野利和

副委員長 大山真一

委員 林田哲幸、佐藤義隆
矢崎勝己、藤本淳次郎

時の人

J1札幌に
入団内定!



中島 大嘉選手
(国見高校サッカー部)



私は中学校卒業までの15年間を大阪で過ごしましたが、両親が国見町出身ということもあり、国見町や雲仙市を身近に感じていました。国見高校に入学してから、両親を知っている人達や国見高校を支えて頂いている方々がたくさん話しかけてくださったり、応援していただいたりする事がすごく嬉しくて、国見で結果を残さなければという気持ちが強くなっていきました。国見高校サッカー部の青と黄の縦縞をもう一度全国のサッカー少年の憧れにするために、まずは今年の選手権で結果を残します。来年からはプロサッカー選手として札幌でプレーするので、そこでの活躍や、その先の自分の姿で長崎県、日本、世界中の人達を笑顔にしたり、夢を与えたりできる選手になります。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。